

ネットワーク キーボード



オペレーションマニュアル

NK-1200

ご使用になる前に

本ユーザーマニュアルは、ネットワークコントローラキーボードのインストールおよび運営のための基本説明書です。本装置を初めてご使用になるユーザーを初め、以前多くの類似装置を使用していたユーザーの方でも、必ずご使用になる前に本ユーザーマニュアルの内容をお読みになった上、説明書の注意事項を確認した後、製品を使用することをお勧め致します。安全上の警告および注意事項は、製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるので、必ずお守りください。お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。

- 本ユーザーマニュアルを無断で複製できません。
- 本製品には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。そのソフトウェアのソースコードをご希望の方には提供できます。詳しい内容はソフトウェアCDに(OpenSourceGuide¥OpenSourceGuide.pdf)または取引説明書と一緒に提供されるオープンソースガイドを確認してください。
- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、またはユーザーマニュアルの使用方法を従わずに発生した製品の損傷は、当社で責任を負わないのでご注意ください。
- ネットワークコントローラキーボードを初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置や使用する途中に必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門技術者の助けを受けて下さい。
- システムの機能拡張および故障修繕のためにシステムを分解する場合は、必ず購入先までお問い合わせ頂き、専門家の助けを受けなければなりません。
- 本文書に収められた情報の完結性と正確性を検証するため、最善を尽くしておりますが、保障はいたしかねます。本文書の使用結果による責任はユーザーにあります。また、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

Symbol	Publication	Description
	IEC417, No.5032	Alternating current
	IEC417, No.5031	Direct current

安全上の注意事項

安全および製品の故障を防ぐため、本装置をご使用になる前に下記の内容を必ず熟知した後お使いください。製品を正しく使うことでユーザーの安全を保護し、財産上の損害などを防止するための内容であるため、必ずお読みになった上正しくお使い下さい。

- 製品を運搬、または設置する時に衝撃を与えないでください。
- 振動や衝撃がある所に設置しないでください。故障の原因となります。
- 製品の動作中には、製品を動かしたり移動しないでください。
- 清掃をする時は電源を切った後、必ず乾いた布で拭いてください。
- 水、または湿気がある所など、防水できない所に保管しないでください。
- 製品と共に提供されるDCアダプターを使用してください。
- 電源コード部を引っ張って抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。
- 電源コードの上に重い物を置かないでください。破損した電源コードを使うと、火災および感電につながる恐れがあります。
- 本装置内部の一部は感電する恐れがあるため、カバーを開けないでください。
- 密閉していない平らな面に設置し、適正温度を保持してください。空気が循環しない密閉された空間に設置すると、火災の原因となります。
- 故障および感電の恐れがある温度変化が激しい所や湿気が多い所を避け、接地されていない電源拡張ケーブル、被覆がむけた電源コードを使わないで下さい。
- 本装置の上に上がったり、重い物を載せないでください。
- 本装置から異様な匂いがしたり煙が出たら、直ちに電源スイッチを切って購入先まで連絡してください。

目 次

第 1 章 — 概要.....	1
製品の特徴.....	1
製品の構成.....	1
システム構成図.....	2
背面パネル.....	4
ソフトウェアのアップグレード.....	5
下部パネル.....	5
ファクトリーリセット.....	6
上部パネル.....	6
第 2 章 — 設置.....	7
PTZカメラの登録.....	7
ベーシックモード.....	7
アドバンスモード.....	7
NVRシステムの登録.....	8
ベーシックモード.....	8
アドバンスモード.....	8
ビデオ管理システム登録.....	10
第 3 章 — 運営.....	13
概要.....	13
LCD表示.....	13
ボタンのロック.....	14
命令の取消.....	14
PTZカメラの制御.....	15
NVRシステムの制御.....	15
PTZカメラの制御.....	15
NVRの制御.....	15
ビデオ管理システム制御.....	16
映像監視.....	16
映像再生.....	17
第 4 章 — LCDメニュー設定.....	19
LCDメニュー設定ボタン.....	19
LCDメニュー設定の入りまたは抜け.....	19
メニュー設定.....	20
システム設定.....	20
装置の設定.....	20
第 5 章 — 遠隔設定.....	21
システム.....	21
一般.....	22
ボタン.....	22
LCD.....	22
オーディオ.....	23
ネットワーク.....	23

IPアドレス.....	23
FEN.....	23
装置.....	24
一般.....	24
設定.....	24
機能.....	27
マクロ.....	27
ボタン.....	28
付録.....	29
故障の際の確認事項(Q&A).....	29
RS485コネクターの配置.....	29
ボタン.....	29
アップグレードエラーコード.....	34
設定画面の構成図(遠隔設定).....	34
PTZカメラモデル番号.....	35
製品の仕様.....	36

第1章 概要

NK-1200はイーサネット(Ethernet)を通して遠隔にあるビデオ管理システム、ネットワークビデオレコーダー(NVR)、ネットワークカメラを制御するネットワークキーボードです。また、RS485接続によってネットワークキーボードに接続されているNVR及びPTZカメラを制御することもできます。“IDIS DISCOVERY”(統合ネットワーク設置ツール)プログラムを利用してネットワークキーボードの設定を変更したり、複数のネットワークキーボードを統合管理することができます。

製品の特徴

- ネットワーク接続によるデバイスの遠隔制御
- RS485接続によるNVR及び多様なモデルのPTZカメラの制御
- 双方向オーディオ通信の支援により遠隔通話が可能
- USB及びネットワークを利用した手軽なファームウェアアップグレード
- システムの安定化のためのファームウェア二重化及び自動復旧機能を支援
- ネットワーク上で複数のネットワークキーボード統合管理が可能
- マクロ(最大100個)及び機能ボタン(最大8個)を支援
- LCD画面を利用した設定を支援
- USBマウスを利用し、ネットワーク接続通じてデバイス遠隔制御が可能

互換装置

- ビデオ管理システム
- NVR(ネットワークビデオレコーダー)
- ネットワークカメラ
- PTZカメラ

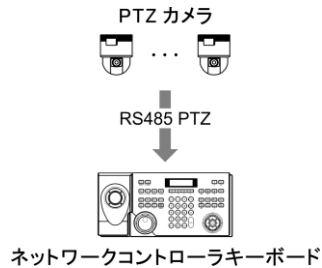
* NVR登録方法及び制御方法はNVRと同じです。

製品の構成

- ネットワークキーボード本体
 - ジョイスティック(着脱可能)及びジョイスティックケーブル
 - DCアダプター(48V)
 - 電源ケーブル
 - ユーザーマニュアル
- ✓ ソフト(IDIS Center)及びマニュアルは下記のウェブサイトダウンロードできます。
- IDISホームページ(www.idisglobal.com) → Support
→ Technical Resources (<https://www.idisglobal.com/support/csdownload>)
 - IDIS Discovery, IDIS Center, INEXなど検索

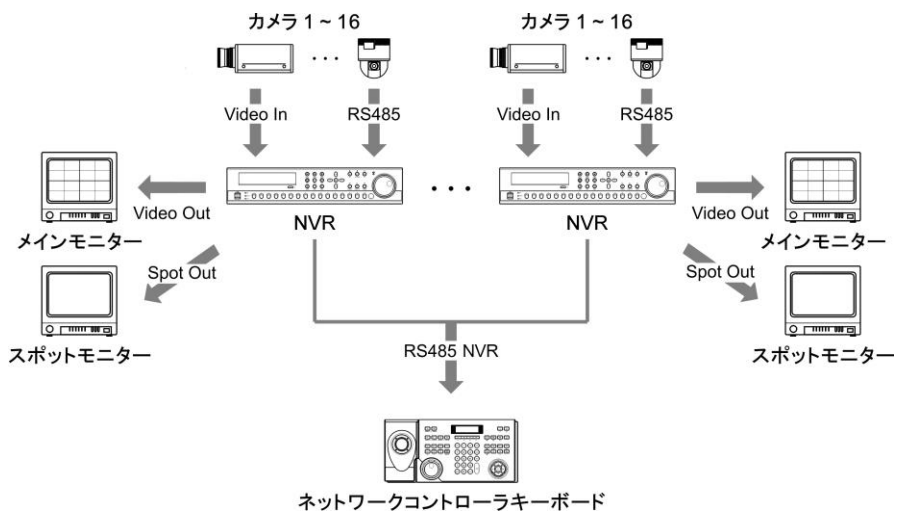
システム構成図

PTZカメラの制御



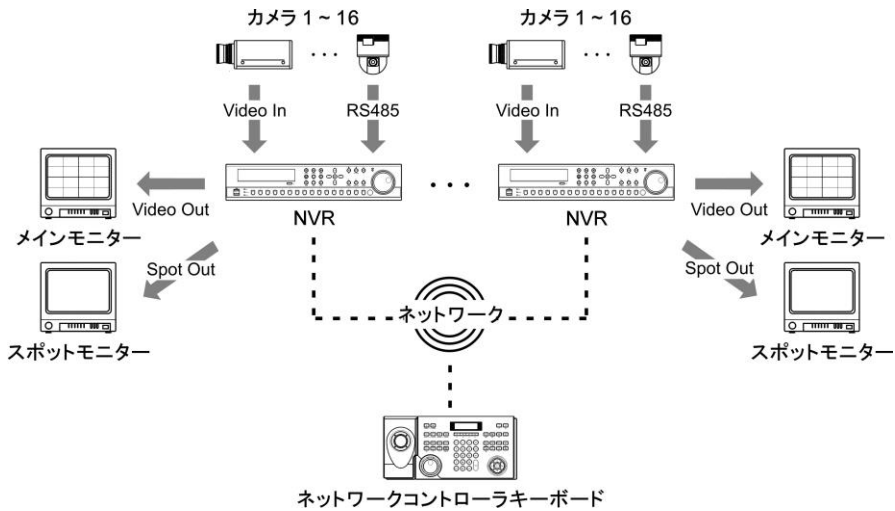
RS485接続によりPTZカメラを制御することができます。詳しい内容は“第 2 章 — 設 置、PTZカメラの登録”(p. 7)及び“第 3 章 — 運 営、PTZカメラの制御”(p. 15)を参照して下さい。

NVRシステムの制御(RS485接続)



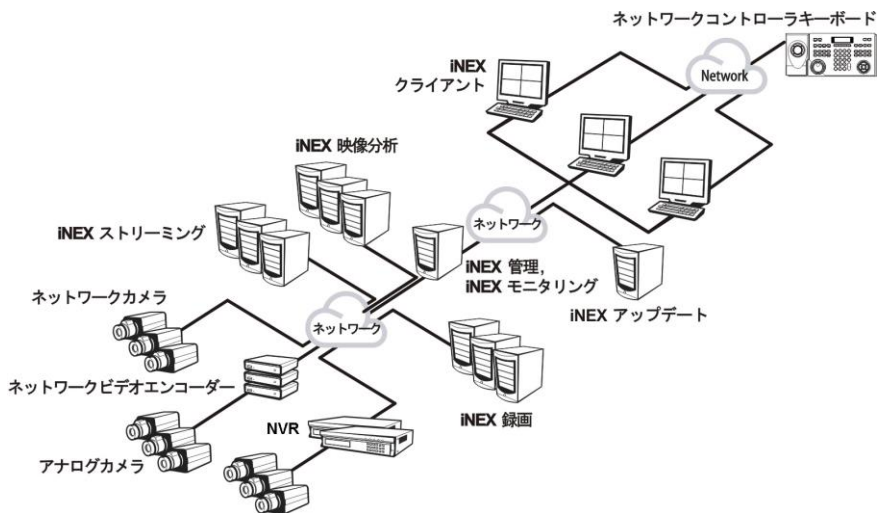
NVR及びNVRに接続されたPTZカメラをRS485接続により制御することができます。詳しい内容は“第 2 章 — 設 置、NVRシステムの登録、ベーシックモード”(p. 8)及び“第 3 章 — 運 営、NVRシステムの制御”(p. 15)を参照して下さい。

NVRシステムの制御(ネットワーク接続)



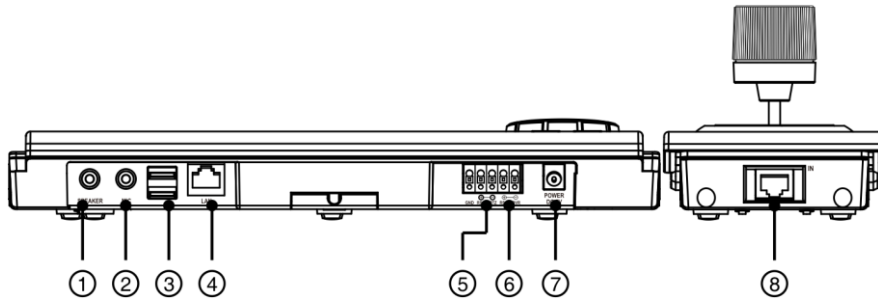
NVR及びNVRに接続されたPTZカメラをネットワーク接続により制御することができます。詳しい内容は“第 2 章 — 設置、NVRシステムの登録、アドバンスモード”(p. 8)及び“第 3 章 — 運営、NVRシステムの制御”(p. 15)を参照して下さい。

ビデオ管理システム制御



クライアントシステムをネットワーク接続により制御することができます。詳しい内容は“第 2 章 — 設置、ビデオ管理システム登録”(p. 10)及び“第 3 章 — 運営、ビデオ管理システム制御”(p. 16)を参照して下さい。

背面パネル



番号	名前	説明
1	スピーカ	アンプに接続します(ラインアウト)。本装置はオーディオ出力アンプを含めないため、ユーザーはアンプとスピーカーを準備しなければなりません。設置地域内の法規がオーディオ監視を許諾するかどうかを調査することは使用者の責任です。
2	マイク	オーディオソースを接続します(ラインイン、またはマイク)。
3	USBポート	USBフラッシュメモリまたはUSBマウスを接続します。USBフラッシュメモリを接続してソフトウェアのアップグレードしたりネットワーク接続を通じてコントロールされるデバイスをUSBマウスを利用してコントロールすることができます。USBマウスを利用したデバイスをコントロールする場合その機能が支援されるNVRに限って支援されます。ソフトウェアのアップグレードに関する詳しい内容は以下の“ソフトウェアアップグレード”部分をご確認ください。
4	ネットワークポート	RJ-45コネクタ付きCat5ケーブルを接続します。ネットワーク接続設定については、“第 5 章 — 遠隔設定”及びIDIS DISCOVERYユーザーマニュアルを参照して下さい。
5	RS485 PTZポート	PTZカメラを接続します。カメラのTX+/RX+、TX-/RX-をネットワークコントローラキーボードのRS485ポートに接続します。RS485接続に関する詳しい内容は、PTZカメラメーカーのユーザーマニュアルを参照してください。
6	RS485 NVRポート	NVRを接続します。NVRのTX+/RX+、TX-/RX-をネットワークコントローラキーボードのRS485ポートに接続します。RS485接続に関する詳しい内容は、NVRのユーザーマニュアルを参照してください。
7	電源	ネットワークキーボードと共に提供される電源アダプターを接続します。電源が印加されると起動します。
8	ジョイスティックポート	ジョイスティックケーブルを接続します。本装置の電源を切った状態で接続して下さい。



電源コードは足に引っかからないように配線し、コードが家具などによってむけないようにご注意ください。電源コードをじゅうたんやカーペットの下に設置してはならず、一つのコンセントにあまり多くの装置を差し込んで過負荷が生じないようにご注意ください。



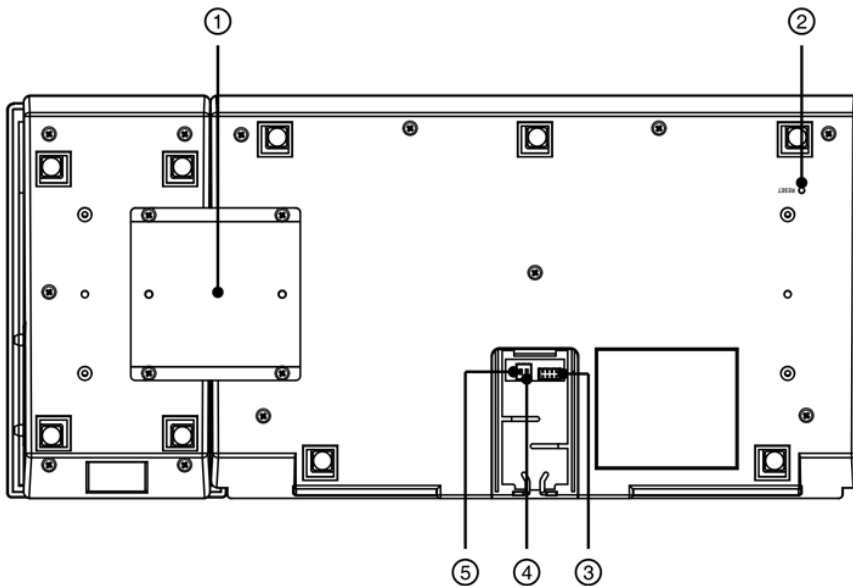
本装置に電源が印加された状態でジョイスティックケーブルを接続したり外したりしないで下さい。ジョイスティックケーブルを接続または外す際には本装置の電源を切らなければなりません。電源を切らなかった場合は、製品が損傷したり誤動作する場合があります。

ソフトウェアのアップグレード

USBフラッシュメモリにアップグレードファイルをコピーします。→ テキストファイルにアップグレードファイル名(拡張子(.ruい 含み)のみ入力してからUSBフラッシュメモリに“autorun.txt”で保存します → アップグレードファイル及び“autorun.txt”ファイルが入っているUSBフラッシュメモリをネットワークキーボードのUSBポートに接続します → LCDメニューに入ります → “General”(一般)メニューの“Upgrade”(アップグレード)項目に移動して“Upgrade”(アップグレード)を選択後、“Yes”を選びます。システムが“autorun.txt”ファイルに保存された名前のアップグレードファイルを読み込み、自動でアップグレードを行います → システムが再起動した後、アップグレードが完了したらLCD初期画面が表示されます。アップグレードの途中でエラーが発生した場合は、“付録 – アップグレードエラーコード”(p. 34)を参照して下さい。

遠隔でIDIS DISCOVERYプログラムを実行してアップグレードを行うこともできます。遠隔アップグレードに関する詳しい内容はIDIS DISCOVERY使用説明書を参照して下さい。

下部パネル



番号	名前	説明
1	ジョイスティック ブラケット	適用されたブラケットとネジを用いて、ネットワークキーボード本体と共に提供されるジョイスティックをネットワークキーボード本体の左側または右側に固定させます。
2	ファクトリーリセット スイッチ	設定値を工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使います。詳しくは、次ページの“ファクトリーリセット”を参照して下さい。
3	ジョイスティック 入力ポート	ジョイスティックケーブルを接続します。本装置の電源を切った状態で接続して下さい。
4	RS485 NVR 終端抵抗(1)	RS485接続によりNVRを制御する際にRS485通信環境がよくなり、接続できない場合に“ON”に設定して下さい。
5	RS485 PTZ 終端抵抗(2)	RS485接続によりPTZカメラを制御する際にRS485通信環境がよくなり、接続できない場合に“ON”に設定して下さい。



本装置に電源が印加された状態でジョイスティックケーブルを接続したり外したりしないで下さい。ジョイスティックケーブルを接続または外す際には本装置の電源を切らなければなりません。電源を切らなかった場合は、製品が損傷したり誤動作する場合があります。

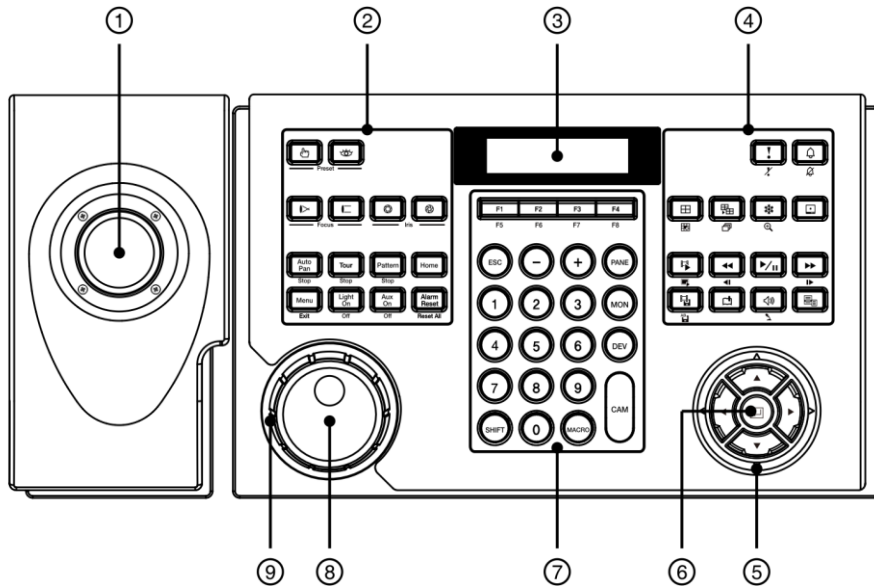
ファクトリーリセット



ファクトリーリセットを行う場合、ユーザーが指定したネットワークコントローラキーボードのすべての設定値が失われます。

本装置が点灯している状態で約3秒間ファクトリーリセットスイッチの穴を押した後、離すとファクトリーリセットが行われます。遠隔から“IDIS DISCOVERY”プログラムを実行してファクトリーリセットを行うこともできます。ファクトリーリセットが完了すると、システムが再起動します。遠隔ファクトリーリセットに関する詳しい内容は、IDIS DISCOVERYユーザーマニュアルを参照して下さい。

上部パネル



番号	名前	説明
1	ジョイスティック	スティックを動かしてPTZカメラのパン、チルトを制御し、レバーのシャトルリングを回してPTZカメラのズームを制御します。
2	PTZカメラの制御ボタン	プリセット及びPTZ拡張機能を利用してPTZカメラを制御します。詳しい内容は“付録 – ボタン、PTZカメラの制御”(p. 31)を参照して下さい。
3	LCD画面	実行命令及びLCDメニューを表示します。詳しい内容は“第 3 章 – 運営”(p. 13)及び“第 4 章 – LCDメニュー設定”(p. 19)を参照して下さい。
4	装置制御ボタン	NVRなどの装置を制御します。詳しい内容は“付録 – ボタン、装置制御”(p. 32)を参照して下さい。
5	矢印ボタン	設定メニューにおいて各設定メニューに移動したり設定値を調整します。
6	エンター (Enter)ボタン	ネットワークキーボード及び装置の設定メニューにおいて項目を選択したり、入力事項を登録します。
7	命令ボタン	命令を入力します。詳しい内容は“付録 – ボタン、実行命令”(p. 30)を参照して下さい。
8	ジョグダイヤル	NVR制御時にのみ動作します。詳しい内容は“付録 – ボタン、実行命令”(p. 30)を参照して下さい。
9	シャトルリング	NVR制御時にのみ動作します。詳しい内容は“付録 – ボタン、実行命令”(p. 30)を参照して下さい。

第2章 — 設置

ネットワークキーボードで装置を制御するためには、装置がネットワークキーボードに正しく登録されていなければなりません。装置の制御方法により“ベーシック”または“アドバンスド”モードが支援され、装置が登録されたモードでのみ制御が可能です。RS485接続によってのみ装置を制御する場合には、“ベーシック”モードまたは“アドバンスド”モードで装置を登録することができ、ネットワーク及びRS485接続によって制御する場合には、“アドバンスド”モードでのみ登録できます。ベーシックモードの登録はLCDメニューまたはIDIS DISCOVERYプログラムで支援され、アドバンスドモードの登録はIDIS DISCOVERYプログラムでのみ支援されます。

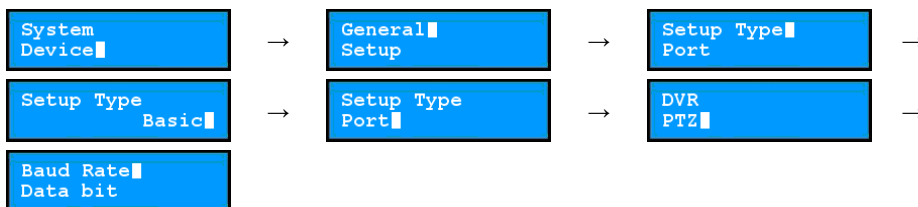
PTZカメラの登録

RS485接続によって制御するPTZカメラを登録します。RS485通信のためのPTZカメラの通信ポート情報が互いに異なる場合は、アドバンスドモードでのみ支援されます。

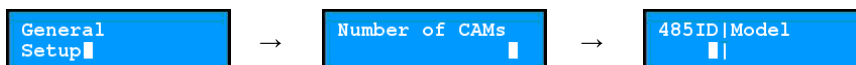
ベーシックモード

LCDメニューを利用してネットワークキーボードで直接PTZカメラを登録するか、またはIDIS DISCOVERYプログラムを利用して遠隔で登録します。IDIS DISCOVERYプログラムを利用した遠隔登録に関する詳しい内容は“第5章 — 遠隔設定、装置”(p.24)を参照して下さい。以下は、LCDメニューを利用した登録についての説明です。

1. ネットワークキーボードのRS485 PTZポートにPTZカメラを接続します。PTZカメラ接続に関する詳しい内容は該当PTZカメラの使用説明書を参照して下さい。
2. ネットワークキーボードの **[SHIFT]** ボタンと **[↓]** ボタンを同時に押してLCDメニューに入ります。詳しい内容は“第4章 — LCDメニュー設定”(p. 19)を参照して下さい。
3. “Device”(装置) → “General”(一般)メニューに移動して次のように設定します。
 - Setup Type(設定タイプ): “Basic”(ベーシックモード)を選択します。
 - Port(ポート): “PTZ”を選択後、RS485通信のためのポート情報を設定します。各ポート情報はPTZカメラの使用説明書を参照して下さい。



4. **[ESC]** ボタンを押して“Setup”(設定)メニューに移動します。
 - Number of CAMs(カメラの数): 接続されたカメラの数を入力します。
 - 485ID、Model(モデル): RS485通信のために各PTZカメラのRS485 ID及びモデル番号を設定します。各カメラのRS485 IDは、ネットワークキーボードを利用してカメラを制御する時に他のカメラと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。各PTZカメラのモデル番号は“付録 – PTZカメラモデル番号”(p. 35)を確認して下さい。



アドバンスモード

IDIS DISCOVERYプログラムを利用して遠隔でPTZカメラを登録します。IDIS DISCOVERYプログラムを利用した遠隔登録に関する詳しい内容は“第 5 章 — 遠隔設定、装置”(p.24)を参照して下さい。

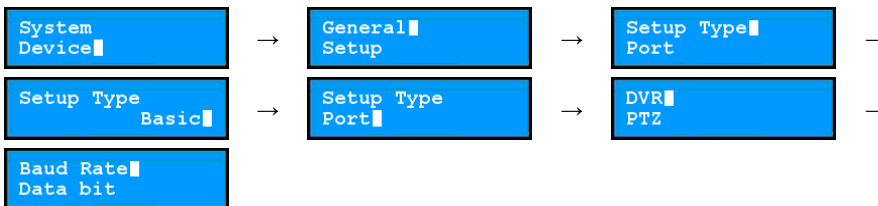
NVRシステムの登録

RS485またはネットワーク接続によって制御するNVRを登録します。ベーシックモードではNVRのシステムIDを利用して制御するのに対し、アドバンスモードではネットワークキーボードにNVR登録時に使用者が設定したIDを利用して制御します。

ベーシックモード

NVRを別途に登録せず、RS485通信のためのポート情報を設定後、NVRのシステムIDを利用して制御します。IDIS DISCOVERYプログラムを利用した設定に関する詳しい内容は“第 5 章 — 遠隔設定、装置”(p.24)を参照して下さい。以下は、LCDメニューを利用した登録についての説明です。

1. ネットワークキーボードのRS485 NVRポートにNVRを接続します。NVR接続に関する詳しい内容はNVRの使用説明書を参照して下さい。
2. ネットワークキーボードの **[SHIFT]** ボタンと **[←]** ボタンを同時に押してLCDメニューに入ります。詳しい内容は“第 4 章 — LCDメニュー設定”(p. 19)を参照して下さい。
3. “Device”(装置) → “General”(一般)メニューに移動して次のように設定します。
 - Setup Type(設定タイプ): “Basic”(ベーシックモード)を選択します。
 - Port(ポート): “NVR”を選択後、RS485通信のためのポート情報を設定します。各ポート情報はNVRで設定した値と同一でなければなりません。



4. NVRで設定したシステムIDを確認します。同一のシステムIDを持つNVRが存在する場合、またはNVRのシステムIDが“0”に設定されている場合は、NVRでシステムIDを変更して下さい。NVRのシステムIDは、ネットワークキーボードを利用してNVRを制御する時にそのNVRを他のNVRと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。

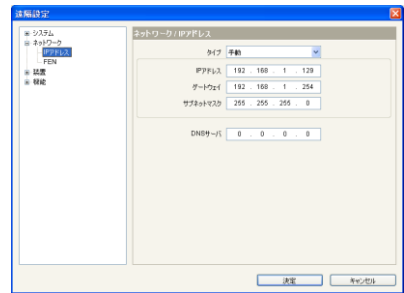
アドバンスモード

IDIS DISCOVERYプログラムを利用して遠隔でNVRを登録します。IDIS DISCOVERYプログラムを利用した遠隔登録に関する詳しい内容は“第 5 章 — 遠隔設定、装置”(p.24)を参照して下さい。

1. RS485接続によってNVRを制御する場合、ネットワークキーボードのRS485 NVRポートにNVRを接続します。ネットワーク接続によってNVRを制御する場合はNVRをネットワークに接続します。
2. IDIS DISCOVERYプログラムを実行後、NVRを登録するネットワークキーボードに接続します。IDIS DISCOVERYプログラム実行に関する詳しい内容はIDIS DISCOVERY使用説明書を参照して下さい。

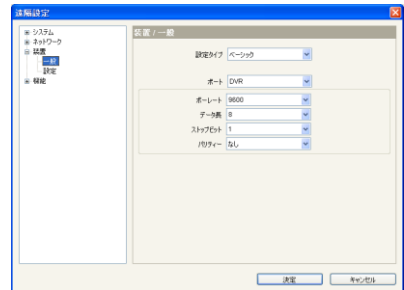
3. (メニュー移動: 遠隔設定 → ネットワーク → IPアドレス)

ネットワークキーボードのネットワーク接続情報を設定します。



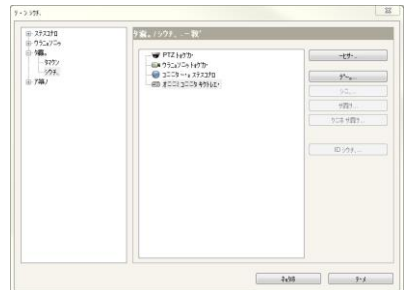
4. (メニュー移動: 遠隔設定 → 装置 → 一般)

“設定タイプ”項目で“アドバンスト”を選択します。RS485接続によってNVRを制御する場合、RS485通信のためのポート情報を設定します。



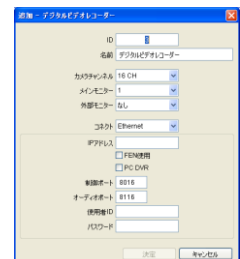
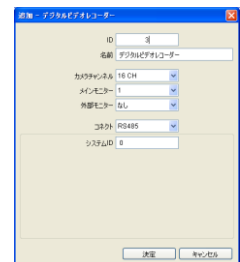
5. (メニュー移動: 遠隔設定 → 装置 → 設定)

5.1. “デジタルビデオレコーダ”を選択後、“追加”ボタンをクリックしてNVRを登録します。



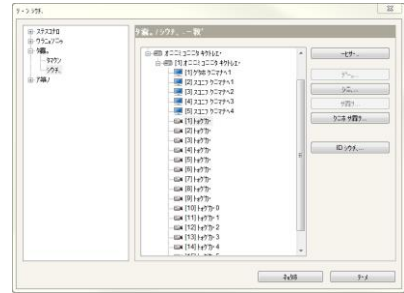
5.2. 登録情報を設定後、“決定”ボタンをクリックします。

- ID: NVR登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。設定されたIDは、ネットワークキーボードを利用してNVRを制御する時に他の装置と区別するために使用されるので、固有でなければなりません。
- 接続: NVRの接続方法によって“RS485”または“Ethernet”を選択します。
 - RS485: NVRがRS485接続によってネットワークキーボードに接続された場合、NVRで設定したNVRのシステムIDを入力します。同一のシステムIDを持つNVRが存在する場合、またはNVRのシステムIDが“0”に設定されている場合はNVRでシステムIDを変更して下さい。NVRのシステムIDは、ネットワークキーボードを利用してそのNVRを制御する時に他のNVRと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。
 - Ethernet: NVRがネットワークに接続された場合、NVR接続のためのIPアドレス、ポート番号(制御ポート: 監視ポート)、使用者ID及びパスワードを入力します。本使用者ID及びパスワードは、NVR接続のためのもので、NVRに登録されている任意の使用者ID及びパスワードを使用できます。ただし、NVR制御時には機能によって制御権限が要求される場合、機能に対する制御権限があるある使用者によるログインが要求されます。万一、他の使用者がNVRにログインしている場合は、使用者がログアウトした後に望みの使用者でログインします。



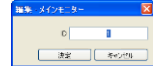
5.3. 装置リストで“デジタルビデオレコーダ”を選択後、登録されたNVRをクリックするとNVRで支援するモニター及びカメラリストが表示されます。

- [ID]メインモニター1、[ID]メインモニター2: モニターID及び種類を表示します(メインモニター1: プライマリモニター、メインモニター2: セカンダリモニター)。
- [ID]スポットモニターNo.: モニターID、種類及びNVRのSpot Out番号を表示します。
- [ID]カメラ名: カメラID及び名前を表示します。



5.4. リストでモニターまたはカメラを選択後、“編集”ボタンをクリックしてモニターまたはカメラの登録情報を変更します。

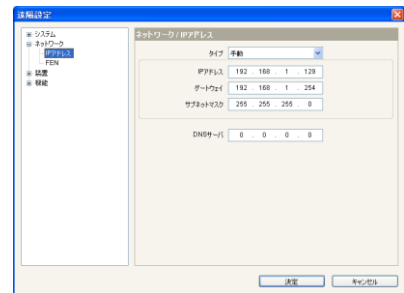
- ID: NVR登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。設定されたIDは、ネットワークキーボードを利用してモニターを選択したり、カメラを制御する時に他のモニターまたはカメラと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。
- タイプ: 接続されるカメラの種類を設定します。
 - Fixed: カメラがPTZカメラではない場合に選択します。
 - PTZカメラ: カメラがPTZカメラである場合に本項目を選択します。



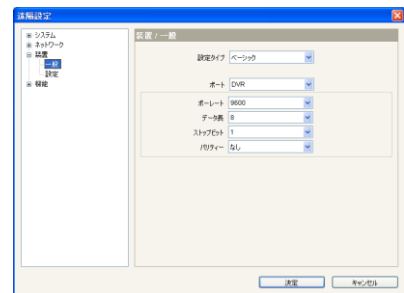
ビデオ管理システム登録

ネットワーク接続によって制御するクライアントシステムを登録します。IDIS DISCOVERYプログラムを利用してアドバンスモードでのみ制御することができ、ベーシックモードは支援されません。

1. クライアントシステムの使用説明書を参照して、クライアントシステムをネットワークに接続します。
2. IDIS DISCOVERYプログラムを実行後、クライアントシステムを登録するネットワークキーボードに接続します。IDIS DISCOVERYプログラム実行に関する詳しい内容はIDIS DISCOVERY使用説明書を参照して下さい。
3. (メニュー移動: 遠隔設定 → ネットワーク → IPアドレス)
ネットワークキーボードのネットワーク接続情報を設定します。

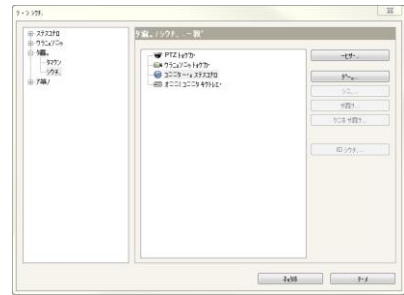


4. (メニュー移動: 遠隔設定 → 装置 → 一般)
“設定タイプ”項目で“アドバンス”を選択します。



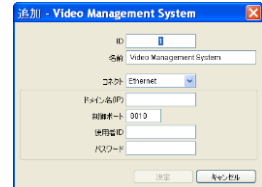
5. (メニュー移動: 遠隔設定 → 装置 → 設定)

- 5.1. “ビデオ管理システム”を選択後、“追加”ボタンをクリックしてクライアントシステムを登録します。



5.2. 登録情報を設定後、“決定”ボタンをクリックします。

- ID: クライアントシステム登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。設定されたIDは、ネットワークキーボードを利用してクライアントシステムを制御する時に他のクライアントシステムと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。
- 接続: “Ethernet”を選択後、クライアントシステムへの接続のためのIPアドレス、ポート番号、使用者ID及びパスワードを入力します。



第3章 — 運営

ネットワークキーボードを利用してRS485及びネットワーク接続によって装置を制御することができます。ネットワークキーボードで装置を制御するためには、装置がネットワークキーボードに正しく登録されていなければならない、装置の登録モードによって“ベーシック”または“アドバンスド”モードで制御します。装置の登録に関する詳しい内容は“第2章 — 設置”(p. 7)及び“第5章 — 遠隔設定”(p. 21)を参照して下さい。

概要

ネットワークキーボードは上部パネルの命令ボタンを利用して入力される実行命令により動作します。各命令ボタンに関する詳しい内容は“付録 - ボタン、実行命令”(p. 30)を参照して下さい。

- ✓ 遠隔でネットワークキーボードに接続中の場合はネットワークキーボードを操作しないで下さい。接続中にネットワークキーボードを操作するとネットワークキーボードが正しく動作しない場合があります。

LCD表示

LCD表示	説明
Select Devices:	<ul style="list-style-type: none"> 初期画面です。
Select Devices: 3	<ul style="list-style-type: none"> モニター、分割画面、装置及びカメラの番号またはIDを押した画面です。命令ボタンを押すと、IDまたは番号の製品を制御することができます。 命令を入力する時は MON (モニター) → PANE (分割画面) → DEV (装置) → CAM (カメラ)の順で入力します。新たな命令を入力する時に、命令が前の命令と同一のモニター、分割画面、装置またはカメラに関する命令の場合、現在の命令を取り消したり始めから再び命令を入力する必要がありません。番号またはID、及び命令ボタン押すだけでよいです。例えば、1 → MON → 1 → CAM 命令を実行すると[1]番モニターに[1]番カメラの映像が表示され、同一の[1]番モニターで[2]番カメラの映像を見るためには始めから再び命令を入力する必要はなく、2 → CAM 命令を実行するだけでよいです。
M003	<ul style="list-style-type: none"> モニターIDを押した後、MON ボタンを押した画面です。モニターが接続されている装置を制御することができます。
D003	<ul style="list-style-type: none"> 装置IDを押した後、DEV ボタンを押した画面です。装置を制御することができます。
M006 C003	<ul style="list-style-type: none"> カメラ番号またはIDを押した後、CAM ボタンを押した画面です。カメラを制御することができます。
D003 c005	<ul style="list-style-type: none"> DEV → CAM 命令の場合、CAM 命令を入力する時に装置のカメラ番号を入力すると、LCD画面に小文字“c”で表示されます。 MON → CAM または PANE → CAM 命令の場合、CAM 命令を入力する時にネットワークキーボードで設定したカメラIDを入力すると、LCD画面に大文字“C”で表示されます。

ボタンのロック

[SHIFT] ボタンと [ESC] ボタンを同時に押してネットワークキーボードのボタンをロックできます。または、LCD設定メニュー及びIDIS DISCOVERYプログラムを利用して特定の時間ネットワークキーボードに何の動作もない場合にボタンがロックされるように設定することもできます。ただし、使用者パスワードが設定されていなかったり、ロック時間が“使用しない”と設定された場合はボタンロック機能が動作しません。使用者パスワードの設定及びボタンロック機能の設定に関する詳しい内容は“第 4 章 — LCDメニュー設定、メニュー設定、システム設定”(p. 20)または“第 5 章 — 遠隔設定、システム”(p. 21)を参照して下さい。

ボタンロック状態ではネットワークキーボードに命令を入力できず、入力されていた命令も取り消されます。ロックを解除するためには、使用者パスワードを入力しなければなりません。

1. [SHIFT] ボタンと [ESC] ボタンを同時に押します。
2. ボタンがロックされます。ロックを解除するためには [↵] ボタンを押します。
3. 使用者パスワードを入力後、[↵] ボタンを押します。
4. ロックが解除されます。

Select Devices:

Key Locked

Input User Pwd

Select Devices:

命令の取消

命令を入力する時にIDまたは番号ボタンを押した後 [ESC] ボタンを押すと、入力を取り消した後、以前の命令に戻り、命令ボタンを押した後 [ESC] ボタンを押すと、命令を取り消して初期画面に戻ります。

1. モニターを選択後、モニターIDを押します。
2. [ESC] ボタンを押すと、入力を取り消した後、以前の命令に戻ります。
3. カメラIDを押します。
4. [CAM] ボタンを押します。
5. モニターに選択したカメラの映像が表示されます。[ESC] ボタンまたは [SHIFT] + [DEV] ボタンを押すと、命令を取り消して初期画面に戻ります。
6. 新たな命令を入力することができます。

M006

M006

1

M006

M006

2

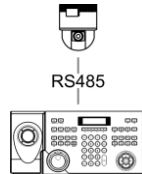
M006

C002

Select Devices:

PTZカメラの制御

RS485接続によってPTZカメラを制御します。制御時に使用するボタンに関する詳しい内容は“付録 – ボタン”(p. 29)を参照して下さい。



Select Devices:
3

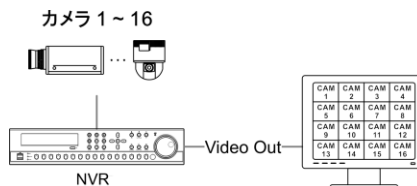
C003

1. カメラIDを押します。ベーシックモードでカメラを制御する場合はカメラIDの代わりにカメラの485 IDを押します。
2. **CAM** ボタンを押します。PTZ制御ボタンを利用してカメラを制御することができます。

NVRシステムの制御

NVR及びNVRに接続されたPTZカメラをRS485またはネットワーク接続によって制御します。ただし、NVR及びNVRに接続されたPTZカメラを制御する際、機能によって制御権限が要求される場合、機能に対する制御権限がある使用者によるログインが要求されます。万一、他の使用者がNVRにログインしている場合は、使用者がログアウトした後に望みの使用者でログインします。そうでない場合は、ログインされている使用者の権限でNVR及びNVRに接続されたPTZカメラを制御します。制御時に使用するボタンに関する詳しい内容は“付録 – ボタン”(p. 29)を参照して下さい。

PTZカメラの制御



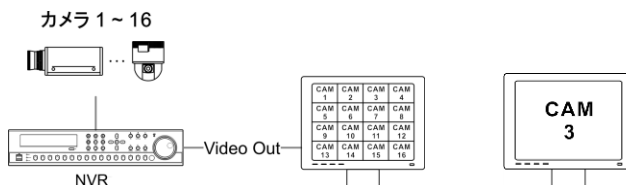
Select Devices:
3

C003

1. カメラIDを押します。
2. **CAM** ボタンを押します。PTZ制御ボタンを利用してカメラを制御することができます。

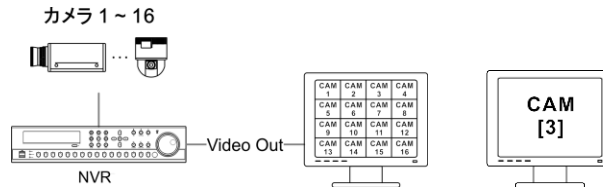
NVRの制御

例1(ベーシックモード及びアドバンスモード)



- | | |
|-------------------|---|
| Select Devices: 5 | <ol style="list-style-type: none"> 1. NVR IDを押します。ベーシックモードでNVRを制御する場合、NVRのシステムIDを押します。NVRのシステムIDはNVR設定で確認できます。 2. [DEV] ボタンを押します。装置制御ボタンを利用してメインモニター1でNVRを制御することができます。 3. NVRのカメラ番号を押します。 4. [CAM] ボタンを押します。カメラ映像がNVRのメインモニター1に表示されます。PTZカメラの場合はPTZ制御ボタンを利用して制御することができます。 |
| D005 | |
| D005 3 | |
| D005 c003 | |

例2(アドバンスドモード)



- | | |
|-------------------|--|
| Select Devices: 6 | <ol style="list-style-type: none"> 1. モニターIDを押します。 2. [MON] ボタンを押します。装置制御ボタンを利用してモニターが接続されているNVRを制御することができます。 3. カメラIDを押します。 4. [CAM] ボタンを押します。カメラ映像がモニターに表示されます。PTZカメラの場合はPTZ制御ボタンを利用して制御することができます。 |
| M006 | |
| M006 3 | |
| M006 c003 | |

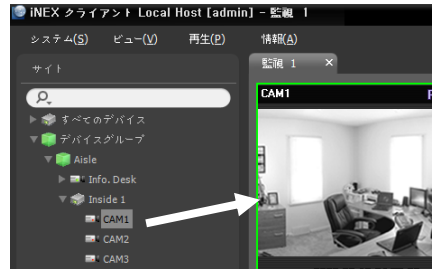
ビデオ管理システム制御


クライアントシステムをネットワーク接続によって制御します。制御時に使用するボタンに関する詳しい内容はクライアントシステムのユーザーマニュアルを参照して下さい。


映像監視

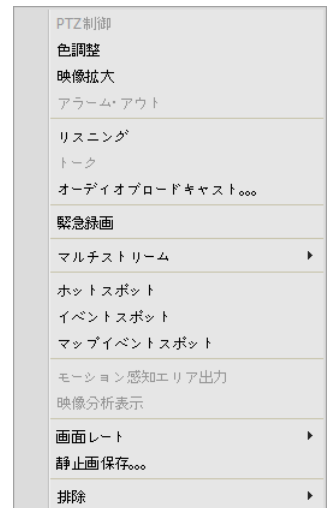
- | | |
|--------|---|
| D001 1 | <ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワークキーボードで監視パネルタブIDをクリックします。 2. [DEV] ボタンを押します。 3. カメラ画面IDをクリックします。 4. [PANE] ボタンを押します。 |
| D001 | |
| D001 1 | |
| D001 | |

5. ネットワークキーボードに接続されているマウスを利用して“サイト”リストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。





- D001** 6.  (メニュー)ボタンを押します。監視画面のメニューが表示されます。

7. ネットワークキーボードの矢印ボタンを利用して、メニューに移動した後、エンターボタン(↵)を押すと、該当メニューを選択、又は選択を解除することができます。現在設定中のメニューを抜ける場合は  (メニュー)ボタンを押した後で該当メニューの選択を解除することができます。

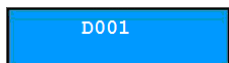
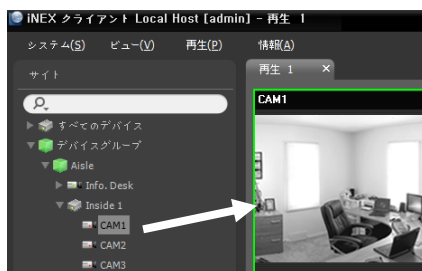


8. その他機能に関しては、クライアントシステムのユーザーマニュアルのネットワークキーボードボタン説明部分を参照してください。



映像再生

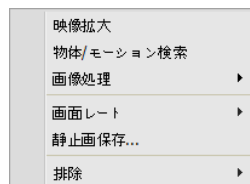
- D001** 1. ネットワークキーボードで再生又はNVR検索パネルタブをIDをクリックします。
- D001** 2.  ボタンを押します。
- D001** 3. カメラ画面IDをクリックします。
- D001** 4.  ボタンを押します。

5. ネットワークキーボードに接続されているマウスを利用して“サイト”リストで接続するサイトを選択した後、再生画面またはNVR検索画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。



6.  (メニュー)ボタンを押します。再生画面のメニューが表示されます。

7. ネットワークキーボードの矢印ボタンを利用して、メニューに移動した後、エンターボタン () を押すと、該当メニューを選択、又は選択を解除することができます。現在設定中のメニューを抜ける場合は  (メニュー)ボタンを押した後に該当メニューの選択を解除することができます。



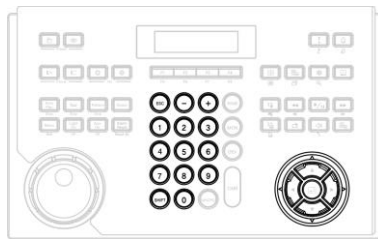
8. その他機能に関しては、クライアントシステムのユーザーマニュアルのネットワークキーボードボタン説明部分を参照してください。

第4章 — LCDメニュー設定

LCD画面に表示されるLCDメニューを利用してネットワークキーボードのシステム設定を変更したり、ベーシックモードに装置を登録することができます。IDIS DISCOVERYプログラムを利用して遠隔でも設定変更及び登録が可能です。IDIS DISCOVERYプログラムを利用した遠隔設定及び登録に関する詳しい内容は“第5章 — 遠隔設定”(p. 21)を参照して下さい。

- ✓ アドバンスモードで装置を制御する場合、LCDメニューでは装置を登録できず、IDIS DISCOVERYプログラムを利用して登録しなければなりません。

LCDメニュー設定ボタン



- **[ESC]**: 変更事項を適用せずに以前のメニューに戻ります。LCD画面に“Save Setup”が表示されるまで **[ESC]** ボタンを押し続けると、変更事項を保存または取り消すことができます。
- +、- / 矢印ボタン(◀、▲、▶、▼): 各設定メニューに移動したり設定値を調整します。
- 0 ~ 9: 数字を入力します(0 ~ 999)。
- **[SHIFT]**: **[↵]** ボタンと同時に押すと、LCDメニューに入ります。
- **[↵]**: 下位メニューへの移動、項目の選択、または入力事項を登録します。

LCDメニュー設定の入りまたは抜け

- | | |
|-------------------------------------|--|
| Select Devices: | 1. [SHIFT] ボタンと [↵] ボタンを同時に押します。 |
| Input Admin Pwd
█ | 2. 番号ボタンを利用して管理者パスワードを入力後、 [↵] ボタンを押します。パスワードの初期値はありません。 |
| [+] [-], [Enter],
[ESC] and [1]~ | 3. [↵] ボタンを押すとLCDメニューに入ります。 |
| System █
Device | 4. 設定を変更します。 |
| Save Setup
Yes █ | 5. LCD画面に“Save Setup”が表示されるまで [ESC] ボタンを押し続けます。“Yes”を選択後 [↵] ボタンを押すと、変更事項を保存した後、LCDメニューを抜けます。“No”を選択すると変更事項を保存せずにLCDメニューを抜けます。 |

メニュー設定

システム設定

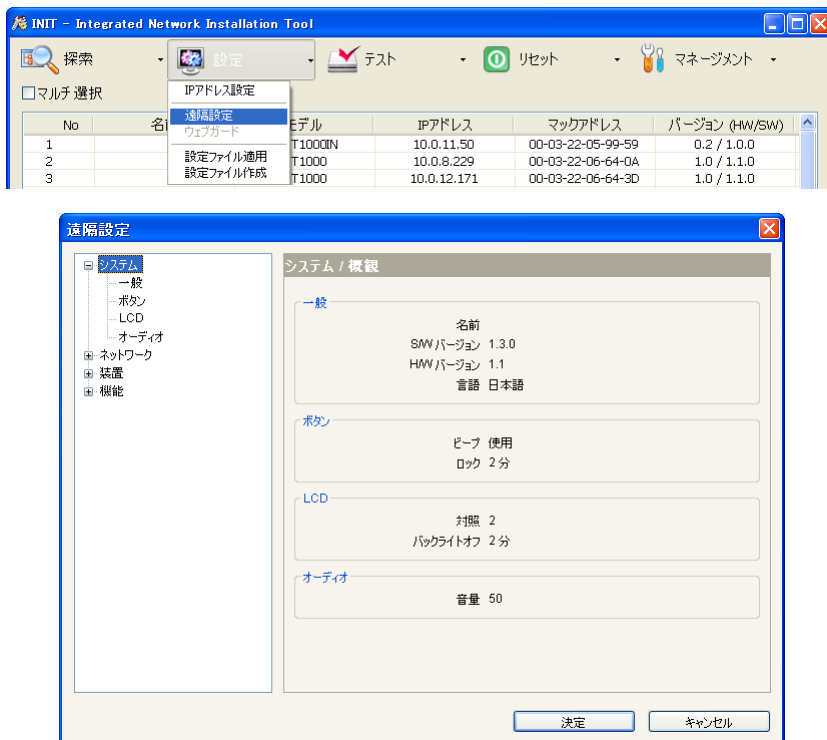
General (一般)	Version (バージョン)	ソフトウェアのバージョンを表示します。
	Password (パスワード)	管理者パスワード及び使用者パスワードを設定します(最大4桁の数字)。現在のパスワードを入力すれば、変更するパスワードを入力できます。パスワードの初期値はありません。管理者パスワードはネットワークキーボード接続及びLCDメニュー設定時、使用者パスワードはネットワークキーボード制御時に入力します。
	Default Settings (基本設定)	ネットワーク関連設定を除いた全ての設定を工場出荷時の初期設定に戻す場合にのみ使用します。詳しい内容は“第 1 章 — 概要、ファクトリーリセット”(p. 6)を参照して下さい。
	MAC Address (MACアドレス)	MACアドレスを表示します。
Button (ボタン)	Beep(ビープ)	ボタンを押す時にビープ音が発生するように設定できます。
	Lock(ロック)	ボタンにロック機能を設定します。設定された時間何の動作もない場合にボタンがロックされます。ロックを解除する時は使用者パスワードの入力が要求されます。使用者パスワードが設定されていない場合や、時間が“0”に設定された場合、本機能は動作しません。
LCD	Contrast(輝度)	LCD画面の輝度を調整します(1: 高、2: 中、3: 低)。
	Backlight Off (バックライトオフ)	LCD画面の照明時間(分)を調整します。設定された時間何の動作もない場合、バックライトが消えます。時間が“0”に設定された場合、本機能は動作しません。
Audio (オーディオ)	Volume (音量)	オーディオ入力及び出力のための音量を調整します。
Upgrade(アップグレード)		ソフトウェアをアップグレードします。詳しい内容は“第 1 章 — 概要、ソフトウェアのアップグレード”(p. 5)を参照して下さい。

装置の設定

General (一般)	Setup Type (設定タイプ)	設定モードを選択します。RS485接続によってのみ装置を制御する場合は“Basic”(ベーシックモード)または“Advanced”(アドバンスモード)を、ネットワークとRS485接続によって制御する場合には“Advanced”(アドバンスモード)を選択します。アドバンスモードを選択する場合はIDIS DISCOVERYプログラムを利用して装置を登録しなければなりません。
	Port(ポート)	RS485接続によって制御しようとする装置を選択後、RS485通信のためのポート情報を設定します。PTZカメラとNVRのポート情報を別途に設定します。アドバンスモードで登録する場合NVRのポート情報のみ設定することができ、PTZカメラのポート情報はIDIS DISCOVERYプログラムを利用して設定しなければなりません。PTZカメラのポート情報が互いに異なる場合、ベーシックモードではカメラを制御できず、アドバンスモードでのみ制御が可能です。
Setup (設定)	Number of CAMs (カメラの数)	RS485接続によってPTZカメラを制御する際に接続されたカメラの数を入力します。
	485ID、Model (モデル)	RS485接続によってPTZカメラを制御する際にRS485通信のために各PTZカメラのRS485 ID及びモデル番号を入力します。RS485 IDは、ネットワークキーボードを利用してカメラを制御する時に他のカメラと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。各PTZカメラのモデル番号は“付録 – PTZカメラモデル番号”(p. 35)で確認できます。

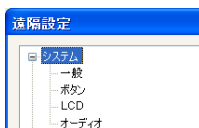
第5章 — 遠隔設定

ネットワークコントローラキーボードの基本設定を含むすべてのシステム設定を変更できます。IDIS DISCOVERYプログラムを実行した後、メイン画面で設定を変更するネットワークコントローラキーボードを選択します。“設定” アイコンをクリックすると現れる設定メニューで、“遠隔設定”を選択すると“遠隔設定”画面が現れます。メイン画面でネットワークコントローラキーボードを選択した後、マウスを右クリックして“遠隔設定”画面を表示させることもできます。



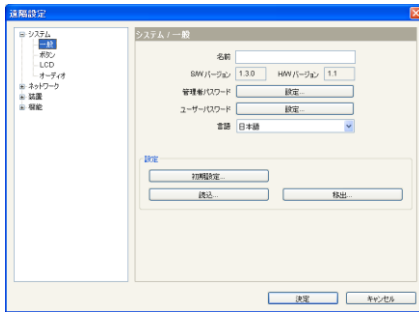
遠隔設定画面で左側のメニューを選択すると、現在の設定値を表示します。メニュー下段の各項目を選択すると、項目の設定値を変更できます。設定値を変更した後“決定”ボタンをクリックすると、遠隔設定ウィンドウを閉じて変更された設定を適用します。

システム



ネットワークキーボードのシステム情報を変更でき、設定値を呼び出ししたり保存することができ、パスワードを変更することができます。ネットワークキーボードのビープ音の出力及びボタンロック機能を設定でき、オーディオのボリュームを調整することができます。

一般

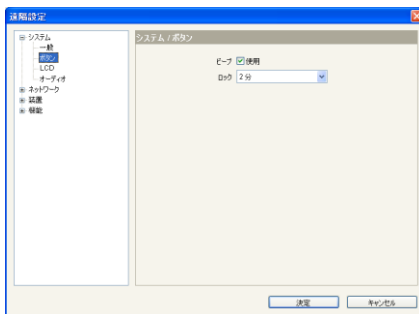


設定

- 初期設定値ロード: すべての設定値(ネットワーク関連設定を除く)を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。
- 読込: ファイル形式で保存されている設定値を読み込み、現在のネットワークコントローラキーボードに適用できます。ボタンをクリックした後、設定ファイルを選択します。“ネットワーク設定含み”を選択すると、設定ファイルの適用時、ネットワーク設定をすべて適用します。ネットワーク設定に関する詳しい内容は“ネットワーク”メニューを参照して下さい。
- 移出: 現在の設定を“dat”ファイルで保存できます。ボタンをクリックしてからファイル名を指定します。

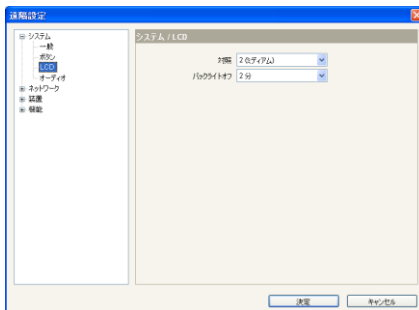
- ✓ 設定ファイルの適用時、設定ファイルのネットワーク設定値が他のネットワークコントローラキーボードで使用されている場合、“ネットワーク設定含み”項目を選択しないで下さい。ネットワークコントローラキーボードに接続する時、正しく接続されない可能性があります。

ボタン



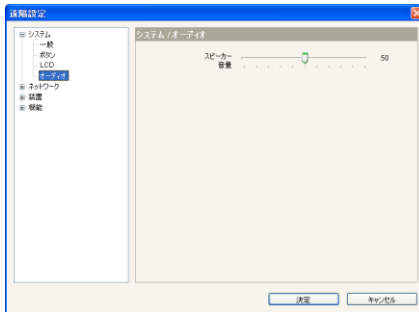
- ビープ: “使用”項目を選択し、ネットワークキーボードのボタンを押す時にビープ音が発生するように設定できます。
- ロック: 設定された時間ネットワークキーボードに何の動作もない場合にボタンがロックされます。ロックを解除する時は使用者パスワードの入力が要求されます。使用者パスワードが設定されていなかったり時間が“使用しない”に設定された場合、本機能は動作しません。

LCD



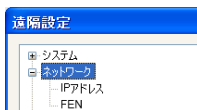
- 対照: ネットワークキーボードLCD画面の対照を調整します。
- バックライトオフ: 設定された時間ネットワークキーボードに何の動作もない場合にLCD画面のバックライトが消えます。時間が“使用しない”に設定された場合、本機能は動作しません。

オーディオ



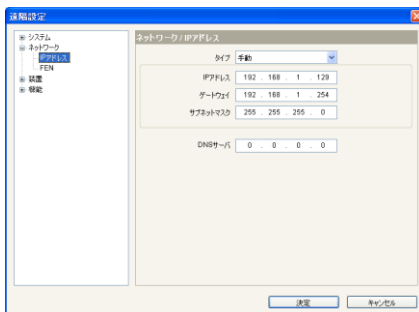
- スピーカ音量: オーディオの出力音量を調整します。
- ✓ 遠隔地とのオーディオの送受信中にネットワークキーボードを操作する場合、オーディオの送受信が正しく動作しない場合があります。

ネットワーク



ネットワーク設定を変更したり、FEN情報を設定できます。

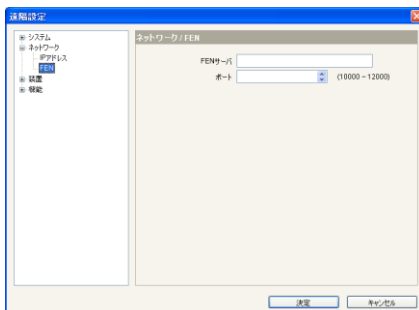
IPアドレス



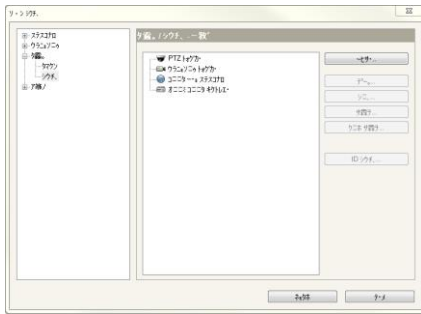
- タイプ: ネットワークに接続する時に使用するネットワークの種類を選択します。ネットワーク接続種類および情報はネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。
 - 手動: 固定IPを使って接続する場合に選択し、関連項目を手動で設定できます。
 - DHCP: DHCPでネットワークに接続している場合に選択します。“決定”ボタンをクリックすると、DHCPサーバーからIPアドレスなどのネットワーク情報を自動で取得します。
- DNSサーバー: DNSサーバーのIPアドレスを入力します。DNSサーバーを設定すると、FENサーバーの設定時、サーバーのIPアドレスの代わりにドメインネームを使用できます。

FEN

制御しようとする装置がFEN機能を使用する場合、装置が登録されたFENサーバーの情報を入力します。



- FENサーバー: FENサーバーのIPアドレス、またはドメインネームを入力します。FENサーバーのIPアドレスやドメイン名は、制御しようとする装置のネットワーク管理者にお問い合わせ下さい。“IPアドレス”設定でDNSサーバーを設定した場合、“FENサーバー”項目にIPアドレスの代わりにドメイン名を入力できます。
- ポート: FENサーバーのポート番号を入力します。



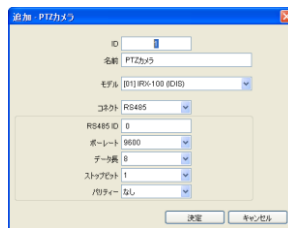
- スキャン / 追加 / 編集: 下段を参照して下さい。
- 削除 / 全て削除: リストで登録された装置を選択後、“削除”ボタンをクリックすると装置が削除されます。“全て除去”ボタンをクリックすると、登録された全ての装置が削除されます。

- スキャン: ネットワークに接続されている装置を検索することができます(ネットワークカメラのみ該当)。ただし、mDNS(Multicast DNS)のプロトコルを用いてネットワークに接続するデバイスは検索されない場合があります。

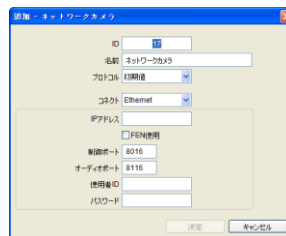
No.	名前	タイプ	IPアドレス
1	AMBER	AMBER	10.0.80.212
2	EGC1122RWR	EGC1122RWR	10.0.97.108
3	EV0Net-C-SM10DNH	EV0Net-C-SM10DNH	10.0.90.204
4	LAISPERPC-0103-3Z	QDS	10.0.114.171
5	NC-G103-ID #3	IPCAMERA	10.0.114.101
6	JMhang_2	MNC-1200	10.0.123.74
7	RS205_JANKE #1	NC-B100-0H	10.0.80.208
8	NC-B100-0H #1	NC-B100-0H	10.0.114.162
9	JANKE D1	NC-D110-VD	10.0.80.208
10	NC-D110-VD #1	NC-D110-VD	10.0.114.160
11	NC-G103-ID_#1	NC-G103-ID	10.0.114.100
12	NC-EP10-IP #1	NC-EP10-IP	10.0.114.152
13	NC-IP103-WV (P)	NC-IP103-WV(P)	10.0.114.172

- 自動スキャン: LANIによって接続された装置を表示します。
- 手動スキャン...: 装置がWANによってネットワークに接続されていたり、一時的にネットワーク接続が切れた場合、IPアドレスを入力して手動で装置を検索できます。
- 追加: リストにある装置をネットワークキーボードに登録できます。リストで装置を選択した後ボタンをクリックすると、設定ウィンドウが現われます。装置に接続するための使用者ID及びパスワードを入力した後、“決定”ボタンをクリックします。2つ以上の装置を選択した場合、選択した装置の使用者ID及びパスワードが互いに異なれば“全て適用”項目の選択を解除します。選択を解除すれば、“決定”ボタンが“次に”ボタンに変わり、ボタンをクリックして各装置への接続のための情報を入力します。接続情報設定に関する詳しい内容は下段の説明を参照して下さい。

- 追加: ネットワークキーボードに装置を登録します。装置分類リストで装置を選択した後、ボタンをクリックすると設定ウィンドウが現われ、装置への接続のための情報を設定します。



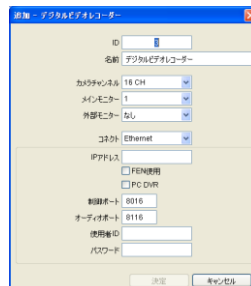
PTZカメラ



ネットワークカメラ



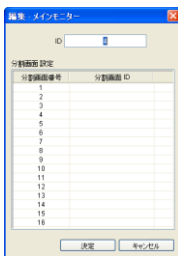
ビデオ管理システム



NVR

- ID: 装置登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。設定されたIDは、ネットワークキーボードを利用して装置を制御する時に他の装置と区別するために使用されるので、固有でなければなりません。
- 名前: 使用者の便宜のために装置の名前を設定します。

- プロトコル: そのデバイスのプロトコルを選択します(ネットワークカメラのみ)。“Panasonic WV”シリーズのモデルではなければ“初期値”を選択します。
- カメラチャンネル: 装置で支援するカメラチャンネルの数を選択します。
- メインモニター: そのデバイスで支援するメインモニターの数を選択します。装置が補助モニターを支援しない場合“1”を補助モニターを支援する場合“2”を選択します。
- スポットモニター: NVRの場合装置で支援するスポットモニター(外部モニター)の数を選択します。
- 接続: 装置がネットワークキーボードに接続されている方法を選択後、関連設定値を入力します。
 - RS485: PTZカメラのRS485 IDは、ネットワークキーボードを利用してカメラを制御する時に他のカメラと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。NVRのシステムIDは、NVRで設定したシステムIDを入力しなければなりません。
 - Ethernet: 制御ポートの場合、装置で設定した監視ポートまたは制御ポートを入力します。オーディオポートの場合、そのデバイスで設定したオーディオポートを入力します。ただし、そのデバイスがオーディオポートを監視ポートを同時に使って別のオーディオポートの設定を支援しない場合があります。この場合、制御ポートとオーディオポートの入力時、全ての監視ポートを入力します。PC基盤のNVRである場合は“PC NVR”を選択します。
- 編集: 登録された装置または装置に接続されたモニター及びカメラの設定を変更するためには、リストで装置、モニターまたはカメラを選択した後ボタンをクリックします。



<モニター>



<カメラ>

- ID: モニターが接続されている装置の登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。設定されたIDは、ネットワークキーボードを利用してモニターを選択する時に他のモニターと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。

- ID: カメラが接続されている装置の登録時に自動で割り当てられ、変更が可能です。設定されたIDは、ネットワークキーボードを利用してカメラを制御する時に他のカメラと区別するために使用されるので、固有でなければなりません。1つのカメラに対して2つのIDが割り当てられます。IDを設定するとIDの重複使用を確認するウィンドウが現われ、“Yes”をクリックしてID設定を完了します。

- 名前: 使用者の便宜のために各カメラの名前を設定します。

- タイプ: 接続されたカメラの種類を設定します。ネットワークキーボードを利用してNVRを制御することができます。接続されたカメラがPTZカメラではない場合は“Fixed”を選択します。接続されたカメラがPTZカメラである場合は“PTZカメラ”を選択します。

- ID設定: 登録された装置または装置に接続されたモニター及びカメラのID設定を変更したり、ファイルに保存するためには、ボタンをクリックします。

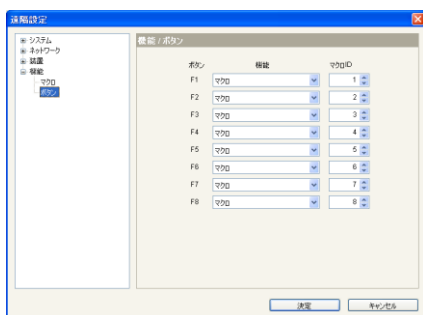
- 追加: マクロを登録します。ボタンをクリックすると設定ウィンドウが現われます。



- ID: マクロIDを設定します(1 ~ 100)。「マクロID」→ **MACRO** 命令を実行すると、マクロに登録された動作を実行します。
- 名前: マクロの名前を入力します。
- No: マクロの動作順序を表示します。マクロ実行時、順序に従って動作を実行します。
- ボタン: 項目をダブルクリックした後、左側のネットワークキーボードイメージで実行する動作を選択します。
- 出力時間: 動作が持続する時間(秒)を設定します。

生成されたマクロは、他のマクロで使用することができます。ネットワークキーボードイメージからマクロ内に追加するマクロIDを選択し、**MACRO**ボタンを押します。

ボタン



- ボタン: ネットワークキーボードの機能ボタンを表示します。
- 機能: 各機能ボタンを押す時に動作する機能を設定します。マクロを設定する場合はマクロを実行でき、Fastrax PTZカメラを制御する場合はCtrl機能を実行できます。
- マクロID: 機能ボタンにマクロを設定した場合、マクロのIDを選択します。ネットワークキーボードで機能ボタンを押すと、ボタンに設定されたマクロが実行されます。

付 録

故障の際の確認事項(Q&A)

症状	確認事項
登録された装置を制御できません。	<ul style="list-style-type: none"> 装置の接続状態を確認します。RS485接続によって制御する場合、装置がネットワークキーボードのRS485ポートに正しく接続されていなければなりません。ネットワーク接続によって制御する場合は、装置とネットワークキーボードがいずれもネットワークに正しく接続されていなければなりません。 装置がネットワークキーボードに正しく登録されているか確認します。ベーシックモードで装置を制御する場合、装置がベーシックモードに登録されていなければならず、アドバンスモードで制御する場合はアドバンスモードで登録されていなければなりません。
PTZカメラを制御できません。	<ul style="list-style-type: none"> PTZカメラがNVRに接続されていれば、NVRのPTZカメラ設定を確認します。 PTZカメラがネットワークキーボードに接続されていれば、ネットワークキーボードにPTZカメラが正しく登録されているか確認します。 カメラ設定でカメラの種類が“PTZカメラ”と設定されているか確認します (IDIS DISCOVERYプログラム → 設定 → 遠隔設定 → 装置 → 設定 → カメラのタイプ: “PTZカメラ”)。
パスワードを忘れ、ネットワークキーボードに接続できません。	<p>ファクトリーリセットを実行しなければなりません。ファクトリーリセットを実行すると、ネットワーク設定を含む全ての設定値が工場出荷時の初期値に戻り、現在の設定値を全て失います。万一のためにファクトリーリセット実行後、パスワードを別途に記録しておいて下さい。</p>

RS485コネクターの配置

RS485 PTZコネクター



マスター装置	スレーブ装置
+ → To	→ TX+/ RX+
- → To	→ TX-/RX-

RS485 NVRコネクター






















マスター装置	スレーブ装置
+ → To	→ TX+/ RX+
- → To	→ TX-/RX-

ボタン






































- ✓ ボタンが正しく動作するためにはコントロールするデバイスがその機能を支援しなければなりませんし、デバイスがネットワークキーボードに正しく登録および設定されていなければなりません。
- ✓ ボタンの動作の説明中、“→”記号はボタンを続けて押すことを意味し、“&”記号は同時に押すことを意味します。
- ✓ デバイスがビデオ管理システムの場合、ボタンの動きが下記の説明と異なります。ビデオ管理システム制御時のボタンの説明はビデオ管理システムの使用マニュアルを参照してください。




実行命令

ボタン	説明	動作
	番号(1~9)	<ul style="list-style-type: none"> 装置番号またはID → MON、PANE、DEV、CAM、MACRO : 番号のモニター、分割画面、装置、カメラ及びマクロを選択します。
	番号(0)	<ul style="list-style-type: none">  → DEV →  : 全ての装置のカメラ映像に対して緊急録画をスタートします。  → DEV → SHIFT &  : 全ての装置のカメラ映像に対して緊急録画をストップします。  → DEV → SHIFT &  : 全ての装置のアラーム出力を解除します。
	Shift	<ul style="list-style-type: none"> SHIFT → 命令ボタン: 命令ボタンが2つの機能を実行する場合、2番目の機能を実行します。 SHIFT & ESC : 全てのボタンをロックします。 SHIFT &  : LCDメニューに入ります。
	Esc	<ul style="list-style-type: none"> ESC : 実行命令中に命令を取り消したり、メニュー設定中に前のメニューに戻ります。
	モニター	<ul style="list-style-type: none"> モニターID → MON : モニターを選択できます。
	分割画面	<ul style="list-style-type: none"> 分割画面番号またはID → PANE : 分割画面を選択できます。
	装置	<ul style="list-style-type: none"> 装置番号またはID → DEV : 装置を制御できます。
	カメラ	<ul style="list-style-type: none"> カメラ番号またはID → CAM : カメラを制御できます。
	マクロ	<ul style="list-style-type: none"> マクロID → MACRO : マクロを実行します。
 	-/+	<ul style="list-style-type: none"> 実行命令中に前のまたは次のモニター、分割画面、装置及びカメラを選択します。 メニュー設定中に各設定メニューに移動したり設定値を調整します。
	機能(1~8)	<ul style="list-style-type: none"> 予め設定された連動機能を実行します。

PTZカメラの制御












































- ✓ PTZカメラのモデルによって一部の機能は動作しない場合があります。各機能に関する詳しい内容はPTZカメラの使用説明書を参照して下さい。
- ✓ PTZカメラが他のデバイスに接続されている場合、そのデバイスの仕様およびバージョンによって一部の機能が支援されない場合があります。


ボタン	説明	動作
	プリセット設定	<ul style="list-style-type: none"> • ‘プリセット番号’ →  (長押し): PTZカメラの現在の位置をプリセット番号に指定してプリセットの位置を設定します。
	プリセット移動	<ul style="list-style-type: none"> • ‘プリセット番号’ →  : PTZカメラを番号のプリセット位置に移動させます。 •  → CAM → プリセット番号 →  : 全てのPTZカメラを番号のプリセット位置に移動させます (Fastraxモデルのみ該当)。本機能が正しく動作するためにはPTZカメラのRS485通信ポート情報をネットワークキーボードの情報と同じく設定します。(アドバンスモードでコントロールする場合0/8/1/None)。
	近距離焦点	<ul style="list-style-type: none"> • 近距離または遠距離にあるイメージにカメラの焦点を合わせます。
	遠距離焦点	
	アイリス開	<ul style="list-style-type: none"> • カメラのレンズの絞りを開いたり閉じたりします。
	アイリス閉	
	自動回転	<ul style="list-style-type: none"> •  : 自動回転番号“1”番に設定された動作を実行します。 • ‘自動回転番号’ →  : 番号に設定された動作を実行します。 • SHIFT &  : 自動回転を中止します。
	ツアー	<ul style="list-style-type: none"> •  : ツアー番号“1”番に設定された動作を実行します。 • ‘ツアー番号’ →  : 該当番号に設定された動作を実行します。 • SHIFT &  : ツアーを中止します。
	パターン	<ul style="list-style-type: none"> •  : パターン番号“1”番に設定された動作を実行します。 • ‘パターン番号’ →  : 該当番号に設定された動作を実行します。 • SHIFT &  : パターンを中止します。
	ホーム	<ul style="list-style-type: none"> • ホーム機能を実行します。
	PTZメニュー	<ul style="list-style-type: none"> •  : PTZメニューを開きます。 • SHIFT &  : PTZメニューを閉じます。
	ライト	<ul style="list-style-type: none"> •  : ライト機能を行います。 • SHIFT &  : ライト機能を解除します。 •  → CAM →  : 全てのカメラを夜間(B&W)モードに設定します。(Fastraxモデルのみ該当)。本機能が正しく動作するためにはPTZカメラのRS485通信ポートの情報をネットワークキーボードの情報と同じく設定します。(高機能モードでコントロールする場合9600/8/1/None)。 •  → CAM → SHIFT &  : 全てのカメラを一般(カラー)モードに設定します。(Fastraxモデルのみ該当)。本機能が正しく動作するためにはPTZカメラのRS485通信ポート情報をネットワークキーボードの情報と同じく設定します。(高機能モードでコントロールする場合9600/8/1/None)。
	付加機能	<ul style="list-style-type: none"> •  : 付加機能を行います。 • SHIFT &  : 付加機能を解除します。
	アラームリセット	<ul style="list-style-type: none"> • アラームリセット機能を行います。

	ジョイスティック	<ul style="list-style-type: none"> スティック: パン(左右移動)、チルト(上下移動)を制御します。 シャトルリング: ズームを制御します。
	ジョグダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> ジョイスティックと同時操作時のズームを制御します。
	シャトルリング	<ul style="list-style-type: none"> ジョイスティックと同時操作時のズームを制御します。

装置制御

- ✓ 制御しようとする装置が選択された状態で装置が各機能を支援する場合にのみボタンが動作します。各機能に関する詳しい内容は装置の使用説明書を参照して下さい。

ボタン	説明	動作
	緊急録画On	<ul style="list-style-type: none"> : 装置の全てのカメラ映像に対して緊急録画を実行します。  →  → : ネットワークキーボードに登録された全ての装置のカメラ映像に対して緊急録画をスタートします。
	緊急録画Off	<ul style="list-style-type: none">  & : 該当装置の全てのカメラ映像に対して緊急録画を中止します。  →  →  & : ネットワークキーボードに登録された全ての装置のカメラ映像に対して緊急録画を中断します。
	アラーム出力On	<ul style="list-style-type: none"> 'アラーム出力装置番号' → : 選択したアラーム出力を動作させます。
	アラーム出力Off	<ul style="list-style-type: none"> 'アラーム出力装置番号' →  & : 選択したアラーム出力を解除します。  & : 該当装置に接続された全てのアラーム出力を解除します。  →  →  & : ネットワークキーボードに登録された全ての装置のアラーム出力を解除します。
	分割表示	<ul style="list-style-type: none"> : ボタンを押す度に装置で支援するレイアウトで順序良く切り替えられます。 'レイアウト番号' → : 選択した分割画面で映像を表示します。(1番: 全体画面、2番: 4分割、3番: 6分割、4番: 9分割、5番: 10分割、6番: 13分割、7番: 16分割、8番: PIP、9番: 6分割、10番: 3分割)MMX制御の時には使用者が設定したレイアウト番号を使用します。
	カメオ	<ul style="list-style-type: none">  & : グループ編集モードをスタートします。
	グループ	<ul style="list-style-type: none"> : 次の画面グループに移動します。 'グループ番号' → : 選択した画面グループに移動します。
	画面自動切替	<ul style="list-style-type: none">  & : 順次監視を行います。
	フリーズ	<ul style="list-style-type: none"> : 監視画面を一時停止させます。
	ズーム	<ul style="list-style-type: none">  & : 監視画面の特定部分を拡大します。
	スポット	<ul style="list-style-type: none"> : スポットメニューまたはモニターメニューを開きます。 'スポットモニター番号' →  → 'カメラ番号' → : 選択したカメラの映像を該当スポットモニターに出力します。
	スキャン	<ul style="list-style-type: none"> : 録画映像を検索します。
	トリプレックス	<ul style="list-style-type: none">  & : トリプレックス再生モードに入ります。

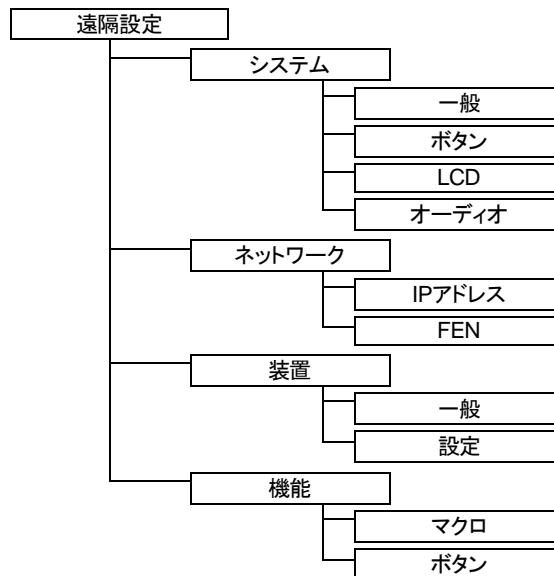
	早巻戻し再生	<ul style="list-style-type: none"> •  : 録画映像を早巻戻し再生します。
	1フレーム巻戻し再生	<ul style="list-style-type: none"> •  &  : 録画映像を1フレームずつ巻戻し再生します。
	再生、一時停止	<ul style="list-style-type: none"> •  : 録画映像を再生します。再生中にボタンを押すと映像を一時停止させます。
	倍速再生	<ul style="list-style-type: none"> •  : 録画映像を倍速再生します。
	1フレーム再生	<ul style="list-style-type: none"> •  &  : 録画映像を1フレームずつ再生します。
	クリップコピー	<ul style="list-style-type: none"> •  : リアルタイム監視モードではワンタッチクリップコピーを実行し、再生モードでは一般クリップコピーを実行します。 •  &  : 再生モードでA-B(区間)のクリップコピーを実行します。
	ブックマーク	<ul style="list-style-type: none"> •  : 再生モードで現在の再生時点をブックマークに追加します。 • 'ブックマーク番号' →  : 再生モードで選択したブックマークに登録された再生時点に移動します。
	オーディオ送 / 受信	<ul style="list-style-type: none"> •  : カメラの制御時にスピーカを通して遠隔地のオーディオを受信します。ボタンをもう一度押すとオーディオの受信を中止します。 •  &  : カメラの制御時にマイクを通して遠隔地にオーディオを送信します。ボタンをもう一度押すとオーディオの送信を中止します。 • オーディオ送受信は、双方向オーディオ機能を支援する装置をネットワーク接続によって制御する場合にのみ支援します。遠隔地とのオーディオ送受信中にネットワークキーボードを操作する場合は、オーディオ送受信が正しく動作しない場合があります。
	メニュー	<ul style="list-style-type: none"> • メニューモードに入ります。
	エンター()	<ul style="list-style-type: none"> • 設定メニューで項目を選択したり入力事項を登録します。 • NVRの制御時に拡大モードで映像の拡大率を変更します。
	矢印	<ul style="list-style-type: none"> • 設定メニューで各設定メニューに移動したり設定値を調整します。 •   : NVRの制御時にレイアウトグループを変更します。 •   : NVRの制御時にPIPモードでPIP画面の位置を変更したり、設定メニューで値を変更します。
	ジョグダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> • NVRの制御時にのみ動作します。 • 拡大モードで映像の拡大率を変更します。時計方向または反時計方向に回して拡大率を増加または減少させます。 • PIPモードでPIP画面のサイズを変更します。PIP画面が左側にある時にはジョグダイヤルを時計方向に、右側にある時には反時計方向に回してサイズを拡大します。 • 設定メニューで値を変更します。 • 再生モード中に一時停止状態で映像を1フレームずつ再生します。ジョグダイヤルを時計方向または反時計方向に回して再生または巻戻し再生します。
	シャトルリング	<ul style="list-style-type: none"> • NVRの制御時にのみ動作します。 • 再生モードで映像を再生します。シャトルリングを左右に動かした後離すと中央位置に戻り、時計方向または反時計方向に回すと再生または巻戻し再生します。再生速度は、シャトルリングが回転した角度に応じて倍速再生または早巻戻し再生に変更します。

アップグレードエラーコード

ソフトウェアのアップグレードを行う時にエラーが発生する場合、下記のエラーコードを参照して下さい。

番号	エラータイプ	番号	エラータイプ
0	原因不明のエラー	302	遠隔アップグレード権限がありません
1	ファイルバージョンに合いません	303	遠隔アップグレードファイルの保存失敗
3	SWバージョンに合いません	304	ユーザーが遠隔アップグレードをキャンセル
4	カーネルバージョンに合いません	400	USB保存装置でマウント失敗
101	ファイルが見つかりません	401	USB保存装置でファイル読取り失敗
102	ファイル圧縮解凍失敗	402	USB保存装置でファイルコピー失敗
105	正しくないファイル	403	USB保存装置が接続されていません
300	遠隔接続失敗	404	USB保存装置が使用中
301	遠隔ネットワークエラー	405	支援されていないファイルシステム

設定画面の構成図(遠隔設定)



PTZカメラモデル番号

番号	モデル	番号	モデル
1	IRX-100 (IDIS)	2	WJ-SX550A (Panasonic)
3	SpeedDome (HiTron)	4	D-protocol (Pelco)
5	Receiver/MPU (Sungjin)	6	KTD-312 (Kalatel)
7	Samsung Dome (Samsung)	8	CRR-1660s (Fine)
9	CRD-J6416 (Chilsung)	10	MRX-1000 (Samsung)
11	G3 Basic AutoDome (Philips)	12	Orbiter Microsphere (Ademco video)
13	Delta Dome II/Ultra IV (Sensormatic)	14	Spectra Dome (Pelco)
15	KD6 (Ultrak)	16	SPD 1600 (Samsung Techwin)
17	Zoom Camera (Samsung)	18	WV-CS850/854 (Panasonic)
19	GRU604A (LG Honeywell)	20	PIH-717 (Linlin)
21	HSD-25X (LG Honeywell)	22	Fastrax (HiTron)
23	KD6 Z-Series (Ultrak)	24	VC-C4 (Canon)
25	TK-S576 (JVC)	26	Power Controller (Dongyang)
27	CDC2400 (DynaColor)	28	Ultra VI (Sensormatic)
29	ZC-SD622J (CBC)	30	Siemens SCU (Siemens)
31	PTC-200C/CVAS (ELMO)	32	DRX-500 (Dongyang Unitech)
33	GHSD-7425 Series (GSP)	34	GHSD-7344 Series (GSP)
35	GHSD-7448 Series (GSP)	36	VisionDome (360Vision)
37	Vicon (Vicon)	38	HSDN-251 (Honeywell)
39	HDC-655 (Honeywell)	40	Pacom 2036 (Pacom)
41	CDC 2500 (Costar)	42	VRX-2201 (Inter-M)
43	DY-255RXC (Dongyang)	44	VC-C50i (Canon)
45	DMP-1223 (Tokina)	46	LPT-A100L (LG)
47	SRX-100B (Samsung Techwin)	48	22x AF Zoom (Hitron)
49	SIC722V (Costar)	50	Dennard2060 (Dennard)
51	PTC-250C (ELMO)	52	ORX_1000 (SysMania)
53	NOVUS-C	54	CRX-1401 (ERAESEEDS)
55	Fastrax2 (HiTron)	56	Solaris
57	C-CC501 (TOA)	58	LG Speed Dome
59	PTC-400 (ELMO)	60	CCDA (Siemens)
61	HRX-1000 (Honeywell)	62	GSD series(G4S)
63	A730HM (LG)	64	NIKO (New Born Hightech)
65	PTC-1000 (ELMO)	66	Remote PTZ (IDIS)
67	Fastrax-IIe (HiTron)	68	AUTODOME (BOSCH)
69	N-Control (NOVUS)	70	WV-CW970/CS950 (Panasonic)

製品の仕様

入 / 出力	
ネットワーク接続	10M/100M/1Gbps Ethernet
オーディオ入力	1マイク
オーディオ出力	1ライン-アウト
コネクター	
オーディオ入力および出力	モノー/ステレオ
イーサネットポート	RJ-45
RS485 PTZシリアルポート	ターミナルブロック
RS485 NVRシリアルポート	ターミナルブロック
USBポート	1 x USB 2.0 (5V, 0.5A未満) 1 x USB 3.0 (5V, 0.5A未満)
一般	
外形サイズ(W x H x D)	376.9mm x 95mm x 177.6mm
包装サイズ(W x H x D)	455mm x 160mm x 255mm
本体重量	1.2Kg
包装重量	2.1Kg
動作温度	0°C ~ 40°C
動作湿度	0% ~ 90%
電源	48 VDC, 1A または PoE (IEEE802.3af class0)
消費電力	RMS, 9.0W
認証	FCC、CE

本製品の仕様は、製品の改良のため、事前予告なしに変更されることがあります。

